

内 容：①三角講師から「5月の作業について」説明  
②幸水摘果



### 5月の作業について（座学）①

5月は、摘果のスピードが大切です。  
幸水は、ジベレリン処理をする場合、満開後30日までに摘果を終了し、30～40日の間にジベレリン処理をします。  
新梢管理(先端の一番勢いのあるものを残す)は、後で効果を発揮します。



### 5月の作業について（座学）②

玉肥を施用します。  
年間施肥量の1割程度の窒素成分(玉肥)に加え、同量の加里を5月中旬に施用します。  
有機配合肥料を使う場合は5月上旬（早めに）施用します。



### 摘果作業①

一般的に急いで行いたい幸水の摘果から始めます。  
1果そう1果残します。  
木の中心から枝をたどりながら作業します。



### 摘果作業②

摘果作業をしながら、葉の裏もみましよう。病気やダニの発見も重要です。